

2012 年 7 月 15 日

ほしぞらサロン 2012 年 6 月 議事録

文責：角田 佳昭

日 時： 2012 年 6 月 2 日（土）17:00 ～ 22:00

場 所： 宗像ユリックス プレハブ

参加者： 石田, 広滝（満）, 松井, 山下, 山田（明）, 吉次

（50 音順, 敬称略）

職 員： 加藤, 小野田, 鳥越, 角田, 平野

見学者： 近藤さん, 村上さん

（計 13 名）

1 セタ飾り付け・短冊

サロン開始前に、プラネタリウムの入り口付近に七夕の笹飾りを設置し、プレハブで短冊に「こより」を貼り付ける作業をしていただきました。

2 5 月 19 日（土）の MYP 総会について（報告）

みなさんに、こよりを貼り付けていただいている間に、加藤さんより、5 月 19 日に行われた MYP 総会について報告がありました。

議事録ができ次第、2011 年度活動報告、2012 年度活動計画と共に、ほしぞ・ラボに PDF ファイルをアップします。印刷物として欲しい場合は、加藤さんに連絡いただけると、お渡します。

3 5 月 26 日（土）のほしぞらウォッチングの反省

5 月 28 日のウォッチングについて、ウォッチング当日に皆さんが発言した反省点について、鳥越さんがまとめたものを読み上げていきました。

今回のウォッチングで、プラネタリウムでの解説を初めて 2 回実施しました。合計 119 人の方が解説を聞きました。

また、リーダー松井さん発案による「フォーク式並び」も効果が高く、想像以上に早く列が無くなっていきました。2 回目の方が来られるまでに、1 回目の方の観望が終わっている状況でした。

ビクセン屈折望遠鏡の赤道儀が、1 台追尾できなくなったトラブルがありましたが、その他に大きな問題はありませんでした。

反省点としては、「2 回目の解説を待っている間に、何か見せられるパネルなどがあると良かった（山下さん、町田さん）」「スタンプの場所が、分かりやすいように灯りなどあった方が良い（山下さん）」などがありました。

4 6 月 6 日（水）の「金星日面通過観察会」について

6 月 6 日（水）の昼間に、「金星日面通過」という天文現象が見られます。この天文現象は平日の昼間に見られる現象なので、あえてスタンプカードの対象となる観望会「ほしぞらウォッチング」の 1 つとせず、「観察会」としました。金星が太陽面を通過し終える、午後 1 ～ 2 時に実施します。

この観察会について、当日のスケジュールと配置図をプリントしたものを基に、角田より説明を行いました。

ユリックスの望遠鏡で、太陽投影板を使えるものが 3 台あります。しかし、安全のことを考えると、1 台につき 2

名以上のスタッフが望ましい状態です。現在の参加登録の状況だと、望遠鏡を 1 台出すのがやっとという状態です。福岡県内だと、ユリックスの他に観察会を行うところがほとんど無いようです。角田は、最大の見積もりとして、200 人くらい来られるのではと予想しています。このままだと、太陽投影像を 1 人 1 回見られるのがやっとという状態になりかねません。参加できる方、ぜひご協力ください。

日中のイベントなので、冷たい飲み物は、エム・ワイ・ピーで準備します。スタッフの皆さんも熱中症対策として、「帽子」などの対策を忘れないようにしてください。

5 今後のイベントについて

今後の活動についてお知らせをしました。

次の活動は、7 月 28 日の望遠鏡工作教室、8 月 25 日のほしぞらウォッチングです。8 月のほしぞらウォッチングのライブ解説を石田さんが行ってくださるということだけが決まっています。

それぞれ、リーダー・サブリーダーを募集中です。少し先のことになりますが、よろしくお願いします。

また、望遠鏡工作教室の 1 週間前である、7 月 21 日にはサロンがあります。そこで、この日の午後の時間（サロン前）に、望遠鏡の予備組立（試作）を行いたいと思っています。初めて工作教室に参加される方はもちろん、経験のある方も、確認のためにぜひご参加ください。

6 クリスマスのショートストーリーについて

クリスマスのショートストーリーについて、前回までのサロンでの話し合いを受け、山下さんが骨子を作ってくださいました。その骨子のプリントを基に話合っていました。

今年は、最近ニュースなどで報じられている民間の宇宙船（スペースシップ・ツー）に、プロキオンが乗るという設定で進められています。

スタッフの皆さん、当日ほしぞらスタッフの見学で参加された方からも、たくさんの意見・アイデアが寄せられました。

- 夢物語ではなく、現実実現可能だということも知ってほしい。
- お話を見終わった後、子どもと親が「本当に宇宙に行けるスペースシップがあるんだね」と話せると、現実とリンクして良いと思う。
- プラネタリウムを出たところに、本物のスペースシップの模型などがあると、盛り上がるのではないだろうか。
- 以前話にでていた、写真が撮れるモックアップがあるといいかも。

また、前回のサロン（4 月 28 日）で「声の出演以外でみんなが参加できるもの」として、吉次さんから「みんなで歌を唄ってはどうか」という提案のありました。この事について、一部誤解があるようでしたので、議事録で改めて経緯を説明しておきます。

これまでのサロンの中（主に 2～3 月）で、今年のクリスマスの活動をどうするのか話し合ってきました。昨年までの活動の反省を受け、次の問題点を解決したいということになりました。

- シナリオ制作などで、特定の人に負担がかからないようにしたい。
- 声の録音に長時間が必要で、拘束時間が長い。

また一方で、次の点は継続していきたいということもありました。

- プロキオンのキャラクターが登場するお話は続けていきたい。
- 声の出演でなくていいので、みんなが参加できる（関われる）ものは残したい。

そこで、今年度はプロキオンが登場するお話を続けつつも、登場人物をメインのキャラクターに限定することで、声の出演者を減らしてみることにしました。これを受け、早速シナリオの検討に入っていくことにしました。

その一方で、みんなが参加できるものとして、何かないだろうかということで、前回（4月28日）のサロンの場で、みなさんの意見を伺ったということです。

これまでの反省を生かし、クリスマスに関わる活動を「シナリオ班」などとし、ある程度まとまったメンバーで話し合いを進めていくことにしました。シナリオ班としての話し合いを、次回6月17日（土）14:00から行うことにしました。

また、スペースシップの模型や、一緒に写真が撮れるモックアップがあるとという意見もありました。これらを検討する「工作班」も動き出すことにしました。

7 その他

7.1 出張観望会について

今後、出張観望会が6月23日、7月26日にあります。出張観望会は、他のボランティア活動とは趣旨が違う（ボランティア主体で行う事業ではない）ことから、交通費の補助として1回の参加につき500円分のクオカードをお渡しいたします。

7.2 ライヴ講座について

ライヴ講座として、プラネタリウムの仕組みを勉強する「プラネタリウム解体講座」を7月7日（土）に行う予定です。ライヴ班以外の方も参加も歓迎です（発声練習も行います）。参加する方は、資料などを準備しますので、参加登録をお願いします。

次回のサロンは7月21日（土）です。